

学習科学に基づく アクティブラーニングのすがた

日時

2017年3月1日 水 13:30～15:00

会場

全学講義棟1号館2階 205講義室

講師

益川 弘如 先生

(ますかわ・ひろゆき)

静岡大学大学院教育学領域 准教授

【主なご研究】

- 「学習科学からの視点—新たな学びと評価への挑戦」『放送メディア研究』Vol.12、2015年
- 「デザイン研究・デザイン実験の方法」『教育工学選書3 教育工学研究の方法』ミネルヴァ書房、2012年

【受賞】

- 2012年度日本教育工学会研究奨励賞（課題名：協調学習型授業を支える観察評価方法の学習支援）

大学教育の質的転換が求められている今、「教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修」（文科省）とされる「アクティブラーニング」が注目されています。しかし、自分の授業にどのように「アクティブラーニング」を取り入れたらいいのか、そもそも「アクティブラーニング」とは何なのかと、戸惑っている方も多いのではないのでしょうか。

学習科学の知見に基づいて、人の学びの仕組みを生かした授業のすがたについて、背景となる学習理論、授業設計、授業体験（知識構成型ジグソー法）、授業評価について一緒に考える時間としたいと思います。

問い合わせ

学務部教育企画課専門員 竹中 準 内線：3269